

2022年5月31日

各位

株式会社三井住友銀行

三ッ輪産業株式会社に「SDG s 推進融資」を実施

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：高島 誠）は、三ッ輪産業株式会社（代表取締役社長：尾日向 竹信）に「SDG s 推進融資」を実施いたしました。

「SDG s 推進融資」は、融資実行時に、株式会社三井住友銀行と株式会社日本総合研究所（代表取締役社長：谷崎 勝教）が、企業のSDG s（※）に関する現状の取組状況を確認した上で、本業を通じたSDG s 貢献への道すじ（ロジック）を分析し、SDG s の取組推進に向けたアドバイス等をご提供する融資商品です。

今回対象となりました、三ッ輪産業株式会社については、以下に記す事業を通じて、SDG s の目標達成に向けた貢献が期待できると判断されました。

① LP ガスや防災商品の販売による災害に強いまちづくりへの貢献

目標 11 住み続けられる まちづくりを	11.5 2030年までに、貧困層及び脆弱な立場にある人々の保護に焦点をあてながら、水関連災害などの災害による死者や被災者数を大幅に削減し、世界の国内総生産比で直接的経済損失を大幅に減らす。
----------------------------	---

② カーボンオフセットされた LP ガス・電気の供給や省エネソリューションの提供によるエネルギー効率の改善、地域と連携した環境価値の創出

目標 7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに	7.3 2030年までに、世界全体のエネルギー効率の改善率を倍増させる。
目標 17 パートナリシップで 目標を達成しよう	17.17 さまざまなパートナーシップの経験や資源戦略を基にした、効果的な公的、官民、市民社会のパートナーシップを奨励・推進する。

三井住友銀行では、「SDG s 推進融資」により、本業を通じ、SDG s が達成される社会の実現に貢献をしております。



尾鷲市の豊かな自然資源を活かした「22世紀に向けたサステナブルシティ」の具現化のため、市民や市内外の提携事業者と協業しながら2050年のカーボンニュートラル実現に向けて取り組みを進めます。



中小企業や一般家庭が行動を起こすまでの課題点を抽出し対策を立てることで、効果的な普及啓発と行動変革のトリガーとなることを目指し、JCI 東京都とともに東京都へ脱炭素社会実現に向けた提言書を提出しました。



今後も「地球のサステナビリティ」と「地域社会のサステナビリティ」の両立に向けて、様々なセクターと連携しながら社会課題の解決に寄与する事業活動に取り組んでまいります。

<ご参考>

※ SDG s とは

Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標) の略称。国連総会で採択された、新興国だけでなく先進国等あらゆる国と地域が、貧困や平等、教育、環境等、「誰も取り残されない世界」の実現を2030年までに目指す17の目標と169のターゲットのことです。

以 上